

Complex Cardiovascular Therapeutics 2022

CCT 2022

Dates **October 28** fri. - **29** sat., 2022

Venue **Portopia Hotel, Kobe, Japan**

Surgical

Update
Program



CCT Website
<https://cct.gr.jp/>

Facebook
<https://www.facebook.com/CCTJAPAN/>

 Find us on
Facebook



S CCT2022 Surgical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2022

Course Directors

代表

岡本 一真
近畿大学
北村 英樹
名古屋ハートセンター
坂口 太一
兵庫医科大学
津久井 宏行
Excela Health Westmoreland Hospital, USA
橋本 誠
札幌心臓血管クリニック

会期 2022年10月28日(金)・29日(土)

会場 神戸ポートピアホテル 本館地下1階 和楽

Course Objectives

2022年のCCT Surgicalは3年ぶりに神戸で現地開催を行います。初日は“低侵襲手術”に焦点を当てたプログラムで、ライブでのDaVinci僧帽弁形成術からスタートです。後尖病変は切除かループか、ビデオライブも並行してご覧いただけます。午後からはTAVIでのValve in valveの実際、Pitfallのセッションです。さらに、三尖弁手術やメイズなど、僧帽弁からもう一歩先に行くためのセッション、加えて動物の僧帽弁手術の権威からのお話も用意しました。一日で低侵襲手術の様々なエッセンスが吸収できる内容となっています。Case Presentationでは、会心の手術や困難症例のオペ、起死回生の手技など、“脳裏に刻まれたこの手術”を供覧します。

二日目は、“明日からの診療に直結する手技”のプログラムで、午前はOPCABのライブを行います。MICS CABGやPoorLVIに対するバイパスの手技も並行してご覧いただけます。

午後からは大動脈解離手術のセッションへと進み、より安全かつ迅速に、次につながる手術手技を検討していきます。

ライブ以外のセッションも、できるだけ映像を供覧できるような構成とし、“CCTと言えばLive”の原点に回帰したプログラムになっていますので、一緒に現地で臨場感を味わいましょう!

なお、昨年度のWeb配信も非常に利便性が高かったとの評価をいただいておりますので、現地開催と併せてWebでも閲覧できるようにしております。現地参加が難しい方は、こちらのサービスを是非ともご利用ください。

CCT2022 Surgical
Course Director 北村 英樹 (名古屋ハートセンター)

Information

事前参加登録

事前参加登録期間：2022年9月30日(金)まで

事前参加登録費：2日間 15,000円 (当日参加登録費 2日間 18,000円)

※研修医の方は、参加登録費10,000円となります。所属長による「研修医(4年目まで)であることを明記した」証明書をお持ちください。証明書の提示がない場合は、当日参加登録費をいただきます。

※学生の参加登録は無料です。当日学生証、またはそれに準ずるものをご呈示ください。証明書の提示がない場合は、当日参加登録費をいただきます。

→オンライン参加登録 <https://cct.gr.jp/2022/>

Program at a glance

	10月28日(金)	10月29日(土)
9:00	Live Demonstration	Live Demonstration
10:00	Live ロボット支援下僧帽弁形成術 (DaVinciとMICS) 札幌心臓血管クリニック オペレーター 橋本 誠	Live OPCAB イムス葛飾ハートセンター オペレーター 金村 賦之
11:00	Video Live MICS MVP ループ プレゼンター 岡本 一真	Video Live Robotically assisted MIDCAB プレゼンター 橋本 誠
12:00		
13:00	Luncheon Seminar 犬の僧帽弁修復術	Luncheon Seminar 2024年4月までに心臓血管外科の労働時間問題を改善するために
14:00	Session① SHDセッション AVR後のTAVI(Valve-in-Valve, Re do回避)	Session③ 未来に向けたA型解離手術 ～左鎖骨下と遠位弓部へのこだわり～
15:00		
16:00	Session② Spiral Suspension Techniqueを習得しよう	
17:00	Case Presentation 印象に残る手術・手技	
18:00	Evening Session 共催: センチュリーメディカル株式会社	
19:00		
20:00		

9:00~12:30 Surgical Live Demonstration 1

詳細な弁の観察が可能な内視鏡下での僧帽弁形成術。近年ますます広がりを見せており、ループ法など内視鏡に適した術式も進歩してきています。そこで今回は、後尖病変に対するDaVinciでの僧帽弁形成術をライブで予定しました。同時にビデオライブで、ループ法での内視鏡下MICS手術を予定しています。後尖病変に対する切除法とループテクニック、対比しながらご覧いただけます。DaVinci手術と内視鏡MICSの違いや共通点なども比較できますので、ライブならではの熱い臨場感を感じつつ、心ゆくまでお楽しみください。

Live ロボット支援下僧帽弁形成術(DaVinciとMICS) Video Live MICS MVP ループ
中継施設: 札幌心臓血管クリニック
●オペレーター 橋本 誠 札幌心臓血管クリニック
●手術室コメンテーター 阿部 恒平 聖路加国際病院
●プレゼンター 岡本 一真 近畿大学

座長 岡田 健次 神戸大学 北村 英樹 名古屋ハートセンター
コメンテーター 浅井 徹 順天堂大学 上地 正実 JASMINEどうぶつ循環器病センター
江石 清行 長崎大学/白十字病院 北原 大翔 University of Chicago, USA
塩瀬 明 九州大学 恒吉 裕史 静岡県立総合病院
ミニレクチャー PC絡みの弁逸脱 PhysioFlexと目指すDurable Repair
北村 英樹 名古屋ハートセンター 共催: エドワーズライフサイエンス株式会社
SimuPlusを用いた僧帽弁形成術
橋本 誠 札幌心臓血管クリニック 共催: 日本メドトロニック株式会社

12:40~13:30 Luncheon Seminar 犬の僧帽弁修復術

ランチョンセミナーは犬の僧帽弁形成術では世界でも屈指の腕を持ち、獣医外科のゴッドハンドの異名をもつ上地正実先生にお話をして頂きます。これまで2000例以上を執刀し、海外からも患者さんも後を絶たないスーパードクターです。動物の心臓手術の難しさ、ヒトとの違いなど、興味深いお話が聞けるまたと無い機会です。

座長 坂口 太一 兵庫医科大学
演者 上地 正実 JASMINEどうぶつ循環器病センター

13:30~15:00 Session 1 SHDセッション: AVR後のTAVI(Valve-in-Valve, Re do回避)

最初は懐疑的であった外科医もその有用性を認め、市民権を得たTAVI。さらにはValve in Valveが可能になったことで、外科医は生体弁の適応年齢を下げる議論も広げています。しかし、実際にValve in Valveの注意点やPit fallなど、我々外科医は理解しているのでしょうか? 安易に"将来はValve in Valveね"と生体弁置換をしたものの、後になってTAVIが困難、といった事態はないのでしょうか? そこで今回は、日本のTAVIを牽引している先生方から実際の注意点やPit fallを学び、さまざまな症例提示やTAVI後のReDoなど、将来必ず役に立つ知識・情報を皆で共有しましょう!

座長 小宮 達彦 倉敷中央病院 白井 伸一 小倉記念病院
基調講演 Valve in valve
山本 真功 豊橋ハートセンター
演者 TAVIを見据えたSAVR ~そのSAVRでホントにTAV in SAVできますか?~
伊藤 丈二 東京ベイ・浦安市川医療センター
TAVI後のAVR
福原 進一 University of Michigan, USA
Valve in valveを断られReAVRで難渋した症例 ~初回AVR時の留意点~
北村 英樹 名古屋ハートセンター
ディスカッサー
大野 暢久 小倉記念病院 畑 正樹 仙台厚生病院
八戸 大輔 札幌ハートセンター 前田 孝一 大阪大学
吉鷹 秀範 心臓病センター榊原病院

15:10~16:40 Session 2 Spiral Suspension Techniqueを習得しよう

著名な右室拡大と三尖弁輪拡大を合併した高度三尖弁閉鎖不全症では、リングのみでは対応できないことが多く、治療に苦慮した外科医も多いと思います。この問題の解決法の1つが、Spiral suspension techniqueです。右室拡大をGoretex sutureを用いることで、3次元的に正常な右室構造に修復する本法は、これまでの術式から一歩進んだ術式と言えるでしょう。本術式を考案された江石先生をお迎えするとともに、本法を積極的に施行されている先生方との活発なディスカッションを通し、その魅力に迫りたいと思います。

座長 江石 清行 長崎大学/白十字病院 津久井宏行 Excela Health Westmoreland Hospital, USA
演者 術式を中心に、変遷や多施設共同研究について
三浦 崇 長崎大学
三尖弁下立体構造の画像診断
尾長谷喜久子 長崎大学
重症TRIに対する切り札 ~Spiral Suspension Technique~
平岡 有努 心臓病センター榊原病院
三尖弁の形成を総合的に
高梨秀一郎 川崎幸病院
開心術後三尖弁閉鎖不全症に対するBeating下MICS Spiral Suspension Techniqueの有有用性
津久井宏行 Excela Health Westmoreland Hospital, USA
パリエーションの多いTRをSSを併用して綺麗に形成しよう
江石 清行 長崎大学/白十字病院

16:50~17:40 Case Presentation 印象に残る手術・手技

自分の脳裏に刻まれた、深く印象に残る手術。外科人生の中で、みなさん一つや二つはあると思います。普段の手術での回心の手術、困難症例に対するオペ、もしくは絶体絶命のピンチで放った起死回生の手技など…。今回は、そんな印象に残る手術・手技を募集しました。みなさんの脳裏に深く刻まれた手術を、是非みなで供覧しましょう。

座長 曾我 欣治 鹿児島大学病院 若狭 哲 北海道大学
演者 Bentall術後PVEによる再手術の1例
在國寺健太 榊原記念病院
急性大動脈解離Stanford Aと腹部大動脈瘤破裂の同時手術
里 学 佐賀県医療センター好生館
僧帽弁前尖のBarlow様肥厚逸脱病変と逆流ジェットが当たるP2P3が左室壁に癒着した症例に対する形成術
澤崎 優 一宮西病院
再二弁置換術後、弁輪破壊を来した高安動脈炎に対するCommand手術
後藤 智行 京都第二赤十字病院
心肺停止をきたした外傷性大動脈損傷の救命手術
松本 三明 津山中央病院

17:50~18:20 Evening Session 30分で語り尽くす心房細動へのシン・アプローチ ~Open, MICS, TT-LAAC~

今まで心房細動に対する治療は、メイズ手術のみが手技点数上認められていました。しかしながら、高齢化社会に伴い心房細動も増加傾向で、そのタイプも多岐にわたり、メイズ手術のみでは適切でない症例も増加しています。このことから、2018年4月に肺静脈隔離術、2020年4月に左心耳閉鎖、そして2022年4月に胸腔鏡下による左心耳閉鎖術が保険診療で新設されました。そこで今回は、エキスパートの先生にMICS、OPCAB、単独左心耳閉鎖の手技を供覧していただきます。それぞれの治療オプションの特性をより深く理解することができるでしょう!

座長 津久井宏行 Excela Health Westmoreland Hospital, USA
演者 堀 大治郎 自治医科大学附属さいたま医療センター

共催: センチュリーメディカル株式会社

9:00~12:00 **Surgical Live Demonstration 2**

2日目のライブセッションはOPCABがテーマです。今が旬の2人の先生による、正中切開のOPCABのリアルライブ、ロボット支援下MIDCABのビデオライブを行います。
GEAの使い方、低心機能症例に対するOPCAB戦略のレクチャーもあり、盛りだくさんなセッションです。

<p>Live OPCAB 中継施設: イムス葛飾ハートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オペレーター 金村 賦之 イムス葛飾ハートセンター ●手術室コメンテーター 島原 佑介 東京医科大学 	<p>Video Live 当院のロボット補助下MIDCABの全て</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンター 橋本 誠 札幌心臓血管クリニック
---	---

座長
坂口 太一 兵庫医科大学 **横山 斉** 福島県立医科大学

ミニレクチャー
Low EFに対するoff-pump CABG
福井 寿啓 熊本大学病院

心原性ショックを呈したAMIに対するImpella supported CABG (PELLACAB)
堂前圭太郎 大阪警察病院

GEA採取法と、使用するときの注意点
鈴木 友彰 滋賀医科大学

コメンテーター
菊地 慶太 東京ベイ・浦安市川医療センター **鈴木 友彰** 滋賀医科大学
堂前圭太郎 大阪警察病院 **濱 元拓** 佐久総合病院
福井 寿啓 熊本大学病院 **夜久 均** 京都府立医科大学

12:10~13:10 **Luncheon Seminar 2024年4月までに心臓血管外科の労働時間問題を改善するために**

2024年から開始予定の「医師の働き方改革」は心臓血管外科医にも避けて通ることのできない問題ですが非常に困難な課題です。その2つの大きな柱はデジタル化とタスクシフトですが、このセッションでは厚生労働局健康局参与の畑中洋亮先生にITによるサポートの観点で、心臓血管外科NPの重富杏子先生・大城智哉先生からはタスクシフトの観点から心臓血管外科における働き方改革について話してもらいます。待たなしの働き方改革、我々のQOLに直結する興味深い議論を期待してください。

座長
高木 靖 藤田医科大学病院 **津久井宏行** Excela Health Westmoreland Hospital, USA

演者
スマホで始まる未来の医療
畑中 洋亮 一般財団法人あなたの医療 代表理事/厚生労働局健康局参与

NPはタスクシフトに貢献するかもしれない
重富 杏子 東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科 診療看護師

プライベートホスピタルにおける心臓血管外科診療看護師(NP)の役割
大城 智哉 札幌心臓血管クリニック 心臓血管外科 診療看護師

13:20~14:50 **Session③ 未来に向けたA型解離手術 ～左鎖骨下と遠位弓部へのこだわり～**

手術なしでは致死的なA型急性大動脈解離。手術を無事に終えた後も、将来的に遠位弓部や残存解離の治療が必要になることがあります。そこで今回は、初回のA型急性大動脈解離に対する手術、特に弓部置換に焦点を当てました。OpenStentの登場により術式や考え方も広がっています。将来必要になるかもしれない手術をしやすくするための工夫、手術を回避するための工夫、まずは救命のための手早く行う工夫、対麻痺を起こさないための工夫。様々なこだわりを持った先生方が一堂に会しますので、ビデオ画像も含めお楽しみください。

座長
坂口 元一 近畿大学 **島本 健** 浜松ろうさい病院

症例提示 兼 コメンテーター
A型急性大動脈解離に対する弓部置換術
新井 善雄 天理よろづ相談所病院

Conventional elephant trunkを用いたStanfordA型大動脈解離に対する手術成績および遠隔成績
熊谷紀一郎 東北大学

Fenestrated FET法
岡村 誉 練馬光が丘病院

安全かつ迅速な大動脈解離手術を目指して
在國寺健太 榊原記念病院

急性A型大動脈解離に対するTAR-FETの進化 ～合併症を予防するための弓部大動脈再建の工夫～
山崎 琢磨 綾瀬循環器病院

10月28日(金) 29日(土)

ポスター掲示 / Poster Posting

- S-01 **The culmination of PGY10 ～OPCAB7～**
宮本 陽介 一宮西病院
- S-02 **僧帽弁前尖のBarlow様肥厚逸脱病変と逆流ジェットが当たるP2P3が左室壁に癒着した症例に対する形成術**
澤崎 優 一宮西病院
- S-03 **Intermittent bileaflet stuck valve of aortic mechanical prosthesis after Bentall procedure**
山中 将太 かわぐち心臓呼吸器病院
- S-04 **Bentall術後PVEによる再手術の1例**
在國寺 健太 榊原記念病院
- S-05 **再二弁置換術後、弁輪破壊を来した高安静脈炎に対するCommand手術**
後藤 智行 京都第二赤十字病院
- S-06 **胸骨後経路胃管再建後の僧帽弁置換術**
岡田 公章 東海大学
- S-07 **高度弁輪破壊を伴う大動脈弁置換術後人工弁感染に対し、Pericardial skirt techniqueを用いてBentall手術を行った一例**
沼田 智 京都府立医科大学
- S-08 **弓部大動脈瘤破裂に対するFrozen elephant trunk使用後のエンドリーク**
高松 正憲 嬉野医療センター
- S-09 **解離性腹部大動脈瘤を有する大動脈弁狭窄症患者に対してEVARとRAT-AVRを併施した一例**
小田 遼馬 順天堂大学医学部附属静岡病院
- S-10 **AMI後、LV rupture (blow out) およびVSPを併発した1例**
津丸 真一 浜松労災病院
- S-11 **上行大動脈人工血管置換術後胸部大動脈吻合部仮性動脈瘤破裂で救急搬送された後にCOVID-19陽性が判明した1例**
横山 泰孝 順天堂大学
- S-12 **急性大動脈解離Stanford Aと腹部大動脈瘤破裂の同時手術**
里 学 佐賀県医療センター好生館
- S-13 **心肺停止をきたした外傷性大動脈損傷の救命手術**
松本 三明 津山中央病院

Remodels While Preserving Flexibility

Physio Flex Annuloplasty Ring



より良い僧帽弁形成術を目指して

フィジオフレックスリングはDr. David Adamsの臨床知見を取り入れ僧帽弁の形状や動きを妨げないよう開発されました。左右非対称なオープンリング、弁輪の自然な動きに追従できる柔軟性、サイズに応じて変化するサドルシェイプの形状などの特徴でより良い僧帽弁形成術に寄与します。

販売名：フィジオフレックスリング 承認番号：302008ZX00095

※ご使用の際には製品の添付文書を必ずお読みください。

Edwards、エドワーズ、Edwards Lifesciences、エドワーズライフサイエンス、定型化されたEロゴ、Physio、Physio FlexおよびフィジオフレックスはEdwards Lifesciences Corporationまたはその関係会社の商標です。その他の商標はそれぞれの商標権者に帰属します。

© 2020 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved. EW2020038

製造販売元 エドワーズライフサイエンス株式会社

本社：東京都新宿区西新宿6丁目10番1号 Tel.03-6894-0500 edwards.com/jp



Edwards

SEEING VALUE FOR PATIENTS

Where others see complexity, we see healthier lives



 **Mallinckrodt**
Pharmaceuticals

マリンクロット ファーマ株式会社
〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 30F
TEL 03-6234-1650 (代表)

Acknowledgements

CCT would like to express gratitude to the following partners.



Diamond Supporters

TERUMO Corporation



Gold Supporters

NIPRO CORPORATION
Abbott Medical Japan LLC.
ASAHI INTECC CO.,LTD.



Silver Supporters

Boston Scientific Japan K.K.
Medtronic Japan Co., Ltd.
KANEKA CORPORATION



Bronze Supporters

ACIST Japan, Inc.
AstraZeneca K.K.
Bayer Yakuhin, Ltd
BIOTRONIK Japan, Inc.
CANON MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
Century Medical, Inc.
Cook Medical Japan G.K.
Cordis Japan G.K.
DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED
DVx Inc.
Edwards Lifesciences Limited
Galliver Co., Ltd.
Getinge Group Japan K.K.
HEIWA BUSSAN CO., LTD.
Japan Lifeline Co., Ltd.
Japan Medicalnext Co., Ltd.
JMS Co., Ltd.
Johnson & Johnson K. K. Medical Company

JSR Corporation
LivaNova Japan K.K.
Mallinckrodt Pharma K.K.
Matsuda Ika Kogyo Co., Ltd
Medicon, INC.
MEDIKIT CO., LTD.
OrbusNeich Medical K.K.
Philips Japan, Ltd.
Photron M&E Solutions Inc.
Senko Medical Instrument Mfg. Co. Ltd.
Shimadzu Corporation
Takeda Pharmaceutical Company Limited.
TECHNOWOOD CORPORATION
Tokai Medical Products, Inc.
VITAL Corporation
W. L. Gore & Associates G.K.
WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
Zeon Medical Inc.



Special thanks to

Asia-Pacific CTO Club
CARDIOVASCULAR SUMMIT-TCTAP, Korea
ENCORE SEOUL, Korea
IMC LIVE, Saudi Arabia
INDO JAPANESE CTO CLUB, India
Indonesian Society of International Cardiology (ISIC), Indonesia
International Cardiac CT conference for Complex Intervention
Japanese Bifurcation Club
Japanese Women's Interventional Conference (J-WINC)
SLENDER CLUB JAPAN
Taiwan CTO Club, Taiwan, R.O.C.
Taiwan Transcatheter Therapeutics (TTT), Taiwan, R.O.C.

Live Case Transmission (Special Focus Live, Featured Live, Petit Focus Live) co-sponsored companies

Abbott Medical Japan LLC., ASAHI INTECC CO., LTD., CANON MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
Cordis Japan G.K., MEDIKIT CO., LTD., Medtronic Japan Co., Ltd., NIPRO CORPORATION, OrbusNeich Medical K.K.
Philips Japan, Ltd., Shimadzu Corporation, TERUMO Corporation